ニュースレター

VOL



NEWSLETTER

発行責任者:羽生 英之

TOP MESSAGE

GM通信 夏休みが終わり、2学期がスタートしました

夏休みも終わり新学期がスタートしました。子供たちは皆よく日焼けして元気な顔を見せてくれました。楽しそうな思い出話をたくさん聞かせてもらいました。久しぶりの登校で友達に会えたことが嬉しかったのでしょう。ハイテンションで困ってしまうくらいでした。子供らしい極々自然な反応を見ていると何だかこちらも嬉しくなってしまいます。

今回はレアアースの話です。レアアースとはスカンジウム、イットリウム等17種類の希少性の高い鉱物のことです。これらの鉱物はスマートフォン、パソコン、電気自動車、省エネ家電など現代の生活には欠かせないいわゆるハイテク製品に不可欠な材料となります。特に高性能磁石、触媒、レーザー、光ファイバーなどに使用されているようですね。ただ、これらの鉱物の産出地は限られていて、日本はもちろん多くの先進国はそのほとんどを中国からの輸入に依存せざるを得ないという状況に置かれています。

元々日本という国は資源に恵まれていない国で、石油等多くの製品の原材料を輸入に頼らざるを得ないという環境下で生きてきました。その日本でなんと今年になってレアアースの試掘が始まったのです。2010年に東京大学などの研究チームが南鳥島沖の深海6,000メートルの海底にレアアースを多く含む泥を発見したというニュースを見たことを覚えています。驚くことに世界需要の数百年分に相当するレアアースが埋蔵されていることも確認できているそうです。この15年間で採掘技術が進歩し、採掘方法が確立されつつある中でいよいよ本格的な採掘を始められる直前まで来ているということです。外交や貿易の分野で劇的に立場を変えられるかもしれませんね。その強大なカードを日本が持っているという意味です。

このレアアースの発見、調査、発掘技術の研究、国として事業推進するための予算措置等々、多岐に渡る分野で多くの人が関わってここまで漕ぎつけたということです。私はグローバルスクールに通う児童にタイミングを見てこの話をしようと思っています。発見や調査は基礎研究者たちの並々ならぬ努力の上に成り立っているでしょう。もしかしたら日本の排他的経済水域内にこれほどまでのレアアースが眠っているなんて誰も信じてくれない中でこつこつと研究、調査を続けて来たのかなと思うと感動すら覚えます。

今回はレアアースのことを書きましたが、グローバルスクール生には自分と仲間を信じて継続する勇気と根気の話として伝えようと思います。どんな困難にぶつかってもあきらめずに続けることの大切さ、賛同してくれる人が少なくても周りに流されることなく継続する勇気を持つことの大切さ、こんなことを話そうと思います。

人間は誰でも失敗をするし、間違うこともあります。それがない完璧な人間などいるわけがありません。だからこそ助け合うことが大切なのです。助け合うためには信頼できる仲間が必要です。人数は多くなくていいのです。何でも話せる仲間、どのような状況でも信じて待っていてくれる仲間を見つけて欲しいです。私は60歳を過ぎていますが、本当に何でも相談できる友人はひとりしかいません。高校時代の友人です。それでいいと思っています。人数よりも信頼感の厚さや付き合いの濃度が重要だと思います。

見ていると必要以上に失敗を恐れている児童がいます。優秀な子ほどその傾向が強いのかなと感じます。先日ある保護者の方と話をしてそのようなことを話すと家庭でもやはり失敗を極度に恐れる傾向が見られるとのことでした。几帳面で国語も算数もよくできる児童なのですが、発想力に弱点があるのです。失敗をしたくないので新しいことにチャレンジすることにも消極的なところが見受けられます。ただ始めてしまえば他の児童よりも早く習得できるのです。すこしずつこの弱点を克服する手助けをしたいと思います。何しろ賢い児童なので。

世田谷校のある児童の話です。その子は入学当初は公立校とグローバルスクールを併用していました。昨年は午前中に英語の授業が集中していたために英語に関してはどうしても遅れがちでした。元々何でも卒なくこなすタイプでしたが、私から見ていると欲がないように感じていました。「自分はこの程度でいいや」と自らの限界を決めてしまうようなところに少し歯がゆさを感じていました。本気でやればもっとできるのにと。

その児童が公立校に通うことをやめてグローバルスクールだけに集中してくれるようになり、しばらくすると英語も周りの皆に追いつき、何よりもチャレンジする姿勢を見せてくれるようになりました。何かきっかけがあったのでしょうか。詳細は分かりませんが、彼の中で何かが変わったのでしょう。こうなればしめたものです。英語だけでなくすべての科目が伸びました。取り組む姿勢も随分積極的になりました。

この児童が夏休みにマレーシアでサマースクールに参加したそうです。保護者から教えてもらいました。初日のレベル分けテストで上から二番目のクラスに入り、現地のインターナショナルスクールに通う子供たちと同じ授業を受けることができたそうです。授業中も先生と積極的なコミュニケーションを試み、自分の考えを英語で伝えることにもチャレンジしていたそうです。スクール以外の場でも様々な国の友達と出会い、英語でコミュニケーションを取りながら楽しく遊んだそうです。素晴らしいですね。本当にいい経験をしたと思います。自分とは文化的な背景の異なる子供たちと接することで彼の中に何が生まれ、何を感じたのか。彼の中にある世界観が広がったことは間違いないですね。これからの変化と成長が楽しみです。個人的にはもっと高いレベルでのサッカーにチャレンジして欲しいと思っています。

今回はここまでにします。

SCHEDULE

【世田谷校】9月の主な予定

○9月1日(月) 農業実習

○9月8日(月) 金融

○9月29日(月) 金融







自然科学
今月は砂鉄を使ってスライムを作成!
さて、砂鉄入りのスライムに磁石を置くとどのような動きをするでしょうか?



○9月1日(月) 金融

○9月8日(月) 農業実習

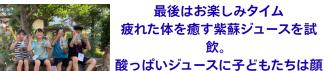
○9月22日(月) 金融



今月は畑を耕す時期だった為、子ど もたちの足で土を耕しました。 子どもたちの反応は?

「気持ちいい!」

その後、宝さがしゲーム・クイズ



そうはいシュースに子ともたらは顔 をしかめていました。





そろばん・プログラミング風景

随時、体験会を実施しております。 お気軽にお問合わせください。 TEL:03-5942-1830